

## 令和2年度 第1回自己評価の分析

| 設問項目                 | 肯定的回答(%) |     |     | 分 析 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------------|----------|-----|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                      | 生徒       | 保護者 | 職員  |                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 【設問1】<br>楽しい場        | 92       | 93  | 100 | 生徒・保護者・職員とも9割以上が肯定的な回答しており、生徒では昨年より2%向上している。コロナ禍で多くの行事が中止になったが、安全に配慮して規模を縮小したり、代替え行事等を工夫して実施していたことや、できるだけ多くの生徒が活躍できる場を設けるようにしている。生徒の割合は、保護者・職員よりも下回っているので引き続き生徒指導の三つの機能（生徒に自己決定の場を与える・生徒に自己存在感を与える・共感的人間関係を育成する）をあらゆる教育活動の場に生かしながら、日々の活動での観察や教育相談等を通して、より一層の生徒理解に努めていく。  |
| 【設問2】<br>学校施設        | 94       | 97  | 82  | 職員が前年度よりも15%下回った。各施設は新しく便利で使いやすく、エアコンも設置されており夏季の熱中症予防に役立っているという意見が多いが、新型コロナウイルス感染拡大防止のための休校中のオンライン設備や学校再開後は各教室の広さ、特別教室の対面座席、手洗い場の蛇口の数等の規制があることが影響していると思われる。今後も定期的な点検や三密回避指導等を通して安全・安心な環境づくりに努めていく。                                                                       |
| 【設問3】<br>情報発信        | 92       | 91  | 94  | 保護者の肯定的な回答が昨年より向上し、9割を超えたが、職員・生徒は下降している。休校中から学級だよりを発行し、情報提供をこまめに行ってきた。また学校再開後は学校だより「刮目」で生徒の活躍や新しい生活様式等の生徒の様子をわかりやすく紹介しているが、ほとんどの行事が中止となり、例年発行していた行事後の様子を伝える機会がない。保護者については休校延長に伴う行事日程の変更や教材・課題等の配付にともなう多くのメールの配信を行っていることで1%向上したと思われる。今後も保護者や生徒に対してより充実した情報発信を引き続き心がけていく。  |
| 【設問4】<br>地域交流        | 64       | 68  | 66  | 生徒・職員とも昨年度よりも10%以上下回った。コロナ禍で学校行事・職場体験学習・地域交流行事等多くの行事が中止となっていることが影響している。生徒の安全に配慮しながら今後も「社会に開かれた教育課程」の実現を目指して、地域の方々との交流が深められるような取り組みを工夫していく。                                                                                                                               |
| 【設問5】<br>いじめ防止       | 87       | 84  | 97  | 昨年度と比較し生徒2%・保護者4%と向上したが、職員は3%下回った。学校再開後から教育相談、その後のいじめアンケートや子供の心を大切にするアンケート等を継続的に実施し、いじめの早期発見・早期対応に努めている。また、今年も生徒会主体の「いじめゼロ集会」を放送で行い、いじめは絶対にあってはならないという意識を持たせる機会としている。職員は休校期間の生徒の生活実の把握や再開後は生徒一人一人に関わる時間が例年よりも少なかったと感じている。今後も、生徒が安心して毎日登校できる環境をつくるため、いじめの早期発見・早期対応に努めていく。 |
| 【設問6】<br>わかる授業       | 94       | 86  | 97  | 生徒4%・保護者9%向上している。休校中の課題作成や再開後の授業を効率的でわかりやすい授業に努めているが、今後も「わかる授業」を展開し、学力向上をさらに進めるために授業改善や、職員研修、職員の相互授業参観を実施し、指導力の向上に努めていく。                                                                                                                                                 |
| 【設問7】<br>誠実な<br>相談活動 | 89       | 88  | 100 | 肯定的な回答が昨年より保護者5%向上している。一部生徒・保護者からは職員への強い改善要望がある。生徒に対しては、職員のしっかりとした人権意識と発達段階に即した確かな生徒理解が不可欠である。また、保護者に対しては、職員の接遇マナーのあり方も見直す必要がある。定期的な相談活動だけでなく、毎日の生徒や保護者との関わりを大切にして、信頼関係を築いていく。                                                                                           |

| 設問項目                       | 肯定的回答(%) |     |    | 分 析 内 容                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----------------------------|----------|-----|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                            | 生徒       | 保護者 | 職員 |                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 【設問８】<br>生徒理解<br>公平な評価     | 84       | 85  | 97 | 肯定的な回答が昨年より生徒で1%、保護者で8%向上している。今後もより一層生徒・保護者との対話を丁寧に行い、生徒理解・信頼関係づくりに努めていく。また、評価については、客観性が高く生徒・保護者が理解しやすい評価のあり方、生徒の学習意欲を高めるための評価方法の工夫が必要である。                                                                                                                            |
| 【設問９】<br>教育環境              | 93       | 93  | 95 | 生徒・保護者・職員とも9割以上が肯定的な回答であるが、生徒・保護者は昨年より1～2%下回った。コロナ対策の観点から特別教室の使用制限等が要因と考えられる。<br>校内の掲示物については、生徒の作品や生徒の興味・関心を高めるタイムリーな内容や情報担当の職員が中心となって丁寧に作成・掲示している。今後も生徒の安全や学校生活の充実に役立つ環境整備に努めていく。                                                                                    |
| 【設問１０】<br>授業への取組<br>・時間を守る | 91       | 97  | 91 | 生徒の肯定的な回答は9割を超えているが、昨年度より下回っている。検温確認や手洗いを含んだ時間確保のため登校時間について以前より意識が高くなったことから保護者は4%向上している。生徒・職員ではコロナ対策等を考慮するとやや意識が低いと感じているようである。<br>生徒の授業への取組は概ね良好であり、今後も望ましい学習習慣の確立を図りながら、体験的・問題解決的な学習を積極的に展開し、生徒の学習意欲と学力向上に努めていく。                                                     |
| 【設問１１】<br>交通ルールを<br>守る     | 95       | 79  | 71 | 職員は昨年度と同様だが、生徒は1%下回っている。学校再開から自転車による事故が数件あり、時折、地域・保護者の方々からの苦情もいただいている現状はある。今後も保護者等の協力を得て、さらに交通安全に関する指導を強化していく。                                                                                                                                                        |
| 【設問１２】<br>元気な<br>あいさつ      | 91       | 81  | 86 | 今年度も、生徒と保護者・職員との認識の差があるが、解消されつつある。生活委員会によるあいさつ運動、部活動でのあいさつ・礼法の指導強化などが徐々に成果となってあらわれている。社会生活を営んでいく上で重要であるあいさつが、さらに定着して習慣化するように今後も継続的に指導していく。                                                                                                                            |
| 【設問１３】<br>身だしなみ            | 95       | 96  | 91 | 昨年度同様、生徒・保護者・職員とも9割を上回る結果となった。生徒の規範意識の向上が、服装や身だしなみにあらわれている。今後も清潔感のある中学生らしい身だしなみで生活できるよう指導を継続していく。                                                                                                                                                                     |
| 【設問１４】<br>清掃活動             | 95       | 94  | 91 | 学校再開後、清潔な環境を意識し、清掃活動に積極的に取り組むようになった。今後もきれいな学校で学習できるように職員による率先垂範を心がけながら、生徒が公共心や勤労の精神をもって意欲的に清掃活動に取り組むように指導していく。                                                                                                                                                        |
| 【設問１５】<br>保護者の参加           | 73       | 66  | 69 | コロナ対策のため、運動会や授業参観等ほとんどの行事が中止となったため生徒・職員で昨年より大幅に下回っている。入学式や進路保護者会等を感染予防をしながら該当学年に限定しての行事を実施したことで2%上回ったと思われる。<br>2学期はPTAバザーが中止となり、合唱コンクールも生徒のみで実施予定であり保護者の参加が難しい状況であるので、安全に配慮しながら合唱コンクールではビデオ販売やその他の活動や学校での様子を学校便りや学年便り、HP等で情報を提供し、できる限り開かれた学校づくりを目指した学校運営を心がけていく必要がある。 |